

第 11 回近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会

2023 年 3 月 28 日 (火) 15:00~16:00

於：米原市役所本庁舎 1 階 コンベンションホール

出席者

(沿線市町)

彦根市	和田裕行・彦根市長
近江八幡市	小西理・近江八幡市長
甲賀市	岩永裕貴・甲賀市長
東近江市	小椋正清・東近江市長 【副会長】
米原市	平尾道雄・米原市長
日野町	堀江和博・日野町長
愛荘町	有村国知・愛荘町長
豊郷町	伊藤定勉・豊郷町長
甲良町	野瀬喜久男・甲良町長
多賀町	久保久良・多賀町長

(滋賀県)

滋賀県	三日月大造・滋賀県知事 【会長】
-----	------------------

(公共交通事業者)

近江鉄道株式会社	飯田則昭・代表取締役社長 【副会長】
信楽高原鐵道株式会社	松田直道・常務取締役業務部長
西日本旅客鐵道株式会社	野口明・京滋支社副支社長
(一社) 滋賀県バス協会	野村義明・専務理事
(一社) 滋賀県タクシー協会	松尾武文・専務理事
(一社) 近江鉄道線管理機構	南川喜代和・代表理事

(道路管理者)

国土交通省近畿地方整備局滋賀国道事務所	中尾勝・所長 【欠席】
---------------------	-------------

(交通管理者)

滋賀県警察本部交通部	黒川昭登・交通企画課課長補佐
------------	----------------

(公共交通利用者)

滋賀県教育委員会高校教育課	武原正樹・主幹
滋賀県PTA連絡協議会	山添友美・会長
滋賀県民生委員児童委員協議会連合会	町田勉・理事
びわこ学院大学教育福祉学部	逢軍・教授
(一財) 滋賀県老人クラブ連合会	西澤基治・理事
滋賀県地域女性団体連合会	山本身江子・副会長

(学識経験者)

(一社) グローカル交流推進機構	土井勉・理事長
関西大学経済学部	宇都宮浄人・教授
滋賀県立大学環境科学部	轟慎一・准教授

(その他)

国土交通省近畿運輸局滋賀運輸支局	戸田辰司・支局長
(一財) 地域公共交通総合研究所	町田敏章・専務理事 【欠席】
(一社) 滋賀県病院協会	川村宏・事務長会委員
滋賀県社会福祉協議会会長会	大塚ふさ・副会長
(公社) びわこビジターズビューロー	西川直治・専務理事
滋賀県商工会議所連合会	二橋省之・理事

(オブザーバー)

国土交通省近畿運輸局交通政策部	柳瀬孝幸・部長
国土交通省近畿運輸局鉄道部	松尾剛志・監理課長

1 開会

三日月知事：みなさん、年度末の大変お忙しいところ、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。今日は年度の最後であり、今年度の締めくくりと、来年度どういふことをするのか、さらにはこの後予定されております機構の開所式など、あわせて節目となる協議会ですので、議事進行を頑張ってお進めて参ります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2 新任委員の紹介

二橋委員：どうぞよろしくお願いいたします。

三日月知事：ありがとうございます。

町田委員は、本日所用により今のところお見えではありませんので、いらっしゃいましたらご挨拶いただくことといたします。

3 報告

(1)2022 年度近江鉄道株式会社の経営状況について

飯田副会長：資料 1 により説明

三日月知事：ただ今の報告について、何かご意見・ご質問等がございますか。おかげ様で少しずつ戻りつつある状況ですが、5 ページの「輸送実績について」の 2019 年度増減比をご覧いただくとおわかりのように、コロナ禍前と比べると、依然として減少傾向にあるという状況を共有したいと思います。ないようでしたら、早速、議事に移りたいと思います。

4 議事

(1)近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会規約の改正について

事務局大池：資料 2 により説明

三日月知事：ただ今の説明に対して、何かご意見・ご質問はございますか。ないようでしたら、お諮りいたします。今、説明のあった、近江鉄道沿線地域公共交通再生協議会規約を説明のとおり、改正してよろしいですか。

一同：「異議なし」の声あり。

三日月知事：異議なしということですので、そのように決定することといたします。ただ今のご承認により、新たにこの協議会のメンバーとなった、一般社団法人近江鉄道線管理機構の代表理事より、一言ご挨拶をお願いいたします。

南川委員：ただ今、規約を改正していただきまして、お仲間に入ることになりました。一般社団法人近江鉄道線管理機構の代表理事を務めさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。

三日月知事：ともに力を合わせて頑張っていきたいと思います。

(2)令和 4 年度事業報告および決算見込みについて

●近江鉄道沿線地域公共交通計画に掲げる取組実績および協議会事業実績・決算見込みについて

事務局大池：資料 3～5 により説明

●近江鉄道線活性化分科会の取組状況について

土井委員：資料 6 により説明

三日月知事：様々な精力的な取組と、来年度に向けての展望・予定等もお伺いいたしました。

●近江鉄道線再構築分科会の取組状況について

事務局渡辺：資料 7 により説明

三日月知事：事務局からいろいろと説明・報告等がございましたが、皆様方からご質問・ご意見等はございませんか。

南川委員：再構築の関係で確認と言うか、機構との関連についてお伺いします。今の説明によると、再構築分科会において、土地をどうするのか、建物をどうするのか、その管理方法をどうするのか、きちんと分科会で決めていただいて、すっきりとしたかたちで管理機構にお渡しいただけると説明で理解したのですが、それでよろしいですか。

それから、われわれ機構が 4 月から事務所を開設いたしますが、どういったかたちで再構築分科会に機構として関わるのかについて、お伺いしたいと思います。

三日月知事：大事な点だと思いますが、事務局から答弁をお願いします。

事務局渡辺：1 点目、再構築分科会ですっきりとしてからという話でございますが、もちろん再構築分科会で慎重かつ丁寧に協議・調整をしております。再構築分科会はあくまでも法定協議会の分科会なので、法定協議会本体のほうでしっかりとコンセンサスを得て、スタートしたいと考えております。

2 点目、機構と再構築分科会の関わりについて、近江鉄道（株）も含めて、両者ともに鉄道事業再構築実施計画を策定する主体となります。ともに協力・連携しながら、非常に重要な調整が必要となってくるので、協力体制の下でやっていくこととなります。よろしくをお願いします。

南川委員：どうぞよろしくをお願いします。

三日月知事：できるだけすっきりとしたかたちで機構の業務をしていただけるよう、皆様、ご協力をよろしくお伺いいたします。と同時に、この再構築分科会は、来年度もやられるので、機構も入って一緒にご検討いただくことにしたいと思います。

それ以外に何かございますか。よろしいですか。ないようでしたら、お諮りいたします。

令和 4 年度事業報告について、ご承認いただけますか。

一同：「異議なし」の声あり。

三日月知事：ありがとうございました。ご承認いただいたと理解し、そのように決定いたします。なお、決算については、確定次第、追って書面にてお諮りさせていただきます。

(3)令和 5 年度事業計画（案）および予算（案）について

事務局大池：資料 8～10 により説明

三日月知事：令和 5 年度の取組内容、予算案等について説明がありました。何かご質問・ご意見等はございますか。

宇都宮委員：令和 4 年度の様々なことが着実に進んでいることについて、ある意味、感銘をもってお聞きいたしました。また、令和 5 年度の計画についても、まったく異存はございません。それを踏まえて、せっかくなので、私なりのコメントをさせていただきます。

1 点目、活性化分科会はいろんなことをやっておられて、いろんなイベントもあるわけ

ですが、分科会の取組状況の説明にもあったとおり、バスとの関係を考えて場合、せっかく近江鉄道が運営主体におられるわけなので、鉄道のイベントにてもう少しバスも巻き込んだイベントもうまくできればいいのではないかと感じました。

2点目、活性化分科会では、定期利用者を中心にターゲットを絞っているということは、それでいいと思いますが、定期外について、割引切符等の企画乗車券の導入も一生懸命にやっておられます。これについては、コロナ後、定期外利用が基本的に戻っていない中、地元の高齢者も含め、定期ではないが普段乗りたい方が割安で乗れるような、例えば年間乗り放題のサブスクチケットといったものを、この機会に少しご検討いただいたらいいのではないかと思います。年間サブスク等のチケットでは、最初の段階で価格の比較もできるため、高齢になって車を持っているよりも、割安でしかも安心して公共交通でおでかけできるという点で、非常に有効な手段ではないかと思います。

3点目、先ほども説明があった、通学定期への支援の話です。ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、3月22日に地域公共交通活性化再生法の一部改正について、衆議院の国土交通委員会で可決されたわけですが、その可決に際して、付帯決議が盛り込まれています。その付帯決議ですが、資料を見る限り、「十八 通学定期や障害者割引等の社会政策に係る費用を交通事業者が負担していることを踏まえ、文教や福祉分野においても交通事業者支援のための仕組みづくりについて、検討すること。」とあります。つまり、通学定期や障がい者割引は、現行事業者負担が日本の原則ですが、通学定期割引や障がい者割引というのは、本来もう少し社会政策的な意味を帯びているということであれば、通学であれば文教、障がい者であれば福祉ということを踏まえて、支援を考えていかなければならず、その仕組みづくりを考えていくことが、具体的な付帯決議にも出たわけです。近江鉄道が再構築される中で、具体的な一步を滋賀県から発信していくことがあっていいのではないかと思います、コメントさせていただきました。

三日月知事：ありがとうございます。それ以外に、何かご意見、コメント、ご質問等はございませんか。

彦根市長：ブランディング事業についての意見です。目指される方向として、完全に新しいものというのであれば都会の鉄道には勝てないので、そちらを目指さずに、わびさびというか、「いいちこ」のCMに出てくるような雰囲気があるものすごくポテンシャルを持っていると思います。例えば、県産材を活かしたベンチにしても、ナチュラルウッド等の茶色にするのではなく、安全面を考えていただいた上で、駅によって分けてもいいと思います。鳥居本駅は古さが売りで、そのまま映画のロケ地になるような所なので、あまり新しいイメージを売って、バランスが崩れないように、味のある部分は残したほうが良いと意見として述べさせていただきます。

三日月知事：せっかくやるのであれば、都会のほかと同じようなものではなくて、近江鉄道に合ったものやっつけていこう、駅ごとによって違うというのもあるので、併せて考えていこうというご意見でした。ほかに何かございませんか。

せっかくの機会なので、ご存念を少しお話しいただければと思います。特に来年度は、大事な年になると思います。再来年度からいよいよ上下分離ということで、3年間、みんなに乗ってもらって、よりよい状態で新しいスキームに移行しようとみんなで決めています。先ほど出ていた、バスと連動したイベントも、今日はJRも来られているので、バスだけではなく、JRも含めてとか、年間乗り放題のサブスクチケットも可能性があるかもしれません。

ん。また、通学定期支援は社会政策としてという付帯決議となったので、さらに県、市、町で考えていく必要があると思います。

先ほど沿線企業のお話でしたが、大企業だけではなくて、地元の中小事業所、また、企業だけでなく、福祉の事業所等とも連携した取組の可能性もあるでしょうし、高校生だけでなく、大学生、専門学生といった皆様のご利用を促進していくこともあるでしょう。企業を巻き込もうと思えば、やはり CO₂削減と絡めると、より賛同を得られる可能性があるでしょう。

市町が主体となってやっただけで、健康保険のビワテクアプリと連動させて、近江鉄道の利用促進を図っていくことも、これから健康との兼ね合いで可能性があるのではないかと思います。それ以外に何かございませんか。

飯田副会長：先ほどお話があった、イベントのあり方は、ぜひ近江鉄道グループとしての地域公共交通への参画度合いをより高めたいことも踏まえて、意識して検討してまいりたいと思います。高齢者に対するサブスクチケットの展開等、たいへんいいご示唆をいただいたと思っております。私どもにお話しいただいた、ブランディングにおいても、近江鉄道のカラーとは何か、皆様と共有しながら進められればと思っております。

それから、知事からもいろんな視点での提案をいただきましたが、今後も沿線企業や学校に対しての目配りを行い、しっかりと取り組んでまいりたいと思われました。皆様、本当にありがとうございます。

米原市長：事務局から説明があった、再構築分科会の関係についてです。知事も、来年度は重要な年になるとおっしゃいました。スケジュールで言うと、12月に国に対して、再構築実施計画を提出し、その前段として10月に概要を法定協議会に報告することになっていきます。われわれとしては、4月以降、10月までのスケジュールをもう少し具体性を持って見たいです。というのは、第三種鉄道事業者としての機構は、沿線自治体になります。当然、首長は参加していくわけです。米原市の場合もほかの自治体もそうですが、一定、議会との関係の議論が必要になります。少なくとも10月までの段階で、市町で、議会を含めて納得してもらわなければならないという課題が出てくると私は考えております。ぜひスケジュールを示してほしいと思います。そのことを通して、私も議会に対する説得を必要な分はしていきたいと思っております。特に譲渡資産の問題については、様々な意見があるのが現実なので、よろしくお願ひしたいと思っております。

三日月知事：今おっしゃったスケジュールの件は、私も確認しようと思っていて、とても大事なことだと思います。事務局の資料には、次の会議は10月としか書いていなかったのですが、それまでにやらなければならないことをスケジュールとして整理した上で、委員の皆様方にご連絡し、お諮りさせていただきたいと思っております。それ以外に何かございますか。

逢委員：1つお知らせです。近江鉄道映画制作実行委員会の実行委員も務めているのですが、映画「ガチャコン！－青春編－」の撮影が先週終わり、4月16日に東近江市文芸会館（午前の部10時開始、午後の部14時開始）で試写会を実施します。時間がおありでしたら、ぜひお越しくださいませ。よろしくお願ひいたします。

三日月知事：ありがとうございます。映画「ガチャコン！－青春編－」が出来上がって、4月16日に上映試写会が行われるということです。ほかに何かございませんか。よろしいですか。お諮りします。議事3 令和5年度事業計画（案）および予算（案）について、ご承認いただけますか。

一同：「異議なしの声」あり。

三日月知事：ここはご承認いただける方は拍手をお願いいたします。

一同：(拍手)

三日月知事：ありがとうございます。案の字を抹消し、そのように決定されたものいたします。それでは、事務局からお知らせがございます。

(事務局からのお知らせ)

事務局大池：法定協規約第4条第2項により、委員の任期は2年としており、今年度末で任期満了を迎えることとなります。また、第3項において、再任を妨げないとさせていただいています。事務局としては、皆様に再任をお願いしたいと考えております。どうぞよろしくをお願いいたします。

三日月知事：私からも引き続き、よろしくをお願いいたします。何か個別に事情のある方は、事務局にご連絡・ご相談ください。その他、一緒に配られている資料等の説明をよろしくをお願いいたします。

(資料の説明)

飯田副会長：近江鉄道から何点か資料をお配りしております。特に「がちゃれば」という施設の保守点検の様子について、皆様にいろんなことを知っていただくということで四半期毎に発行している機関紙です。ぜひお目通しいただければと思います。

もう1つ、「ガチャのるっ!」というパートナーズクラブのPRチラシも加えさせていただいております。ぜひご賛同いただくとともに、内容について、「もっとこんなことができた」というご意見があれば、お寄せいただければと思います。

三日月知事：最近、少しずつ近江鉄道が変わってきたのではないかと思います。駅員の愛想がよくなったとか、広報物がおしゃれになってきたとか、いろいろと話を聞くようになってきました。ぜひ皆様と一緒に盛り上げていきたいと思っています。

いよいよ新年度、みんなで盛り上げていく、よりよい状態に近江鉄道をしていく、大事な年になるので、引き続きのご参画・ご協力を賜りますことをお願い申し上げて、以上で私の進行を終了させていただきます。ご協力、どうもありがとうございました。

5 閉会

事務局渡辺：本日も熱心にご議論くださり、誠にありがとうございました。協議会はこれで閉会とさせていただきます。

この後、16時20分 米原駅発の近江鉄道に乗って、彦根駅まで行っていただきます。これから、近江鉄道線管理機構の開所式を事務所の前で行いたいと思います。皆様におかれては、忘れ物がないよう、電車に乗り遅れないようお願いしたいと思います。

以上